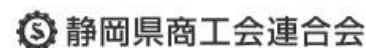


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和3年3月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和3年3月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和3年3月31日
- (2) 調査対象 県下35商工会（うち34商工会より回答）【回収率97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の10業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【緊急事態宣言延長に伴う外出自粛の影響で、食料品や耐久消費財の個人消費を押し上げており、全体的な業況はやや好転した】

産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）は-31.4（前月-34.1、前年同月-48.3）で、前月比2.7pt好転した。外出自粛の影響により、主に小売業において食料品や家電等の需要が増加しているが、観光関連業は依然として厳しい状況が続いている。

【製造業】

業況は-30.4（前月-28.5、前年同月-44.1）と前月に比べ-1.9pt悪化した。自動車関連などの業種において、コロナウイルス拡大前と同水準にまで回復しつつあるが、半導体の生産量不足による今後の影響が懸念されている。

【建設業】

業況は-20.5（前月-20.6、前年同月-44.1）と前月に比べ0.1pt好転した。先月に引き続き、全般的な受注は増加傾向にあり、特にリフォームの需要が増加している。

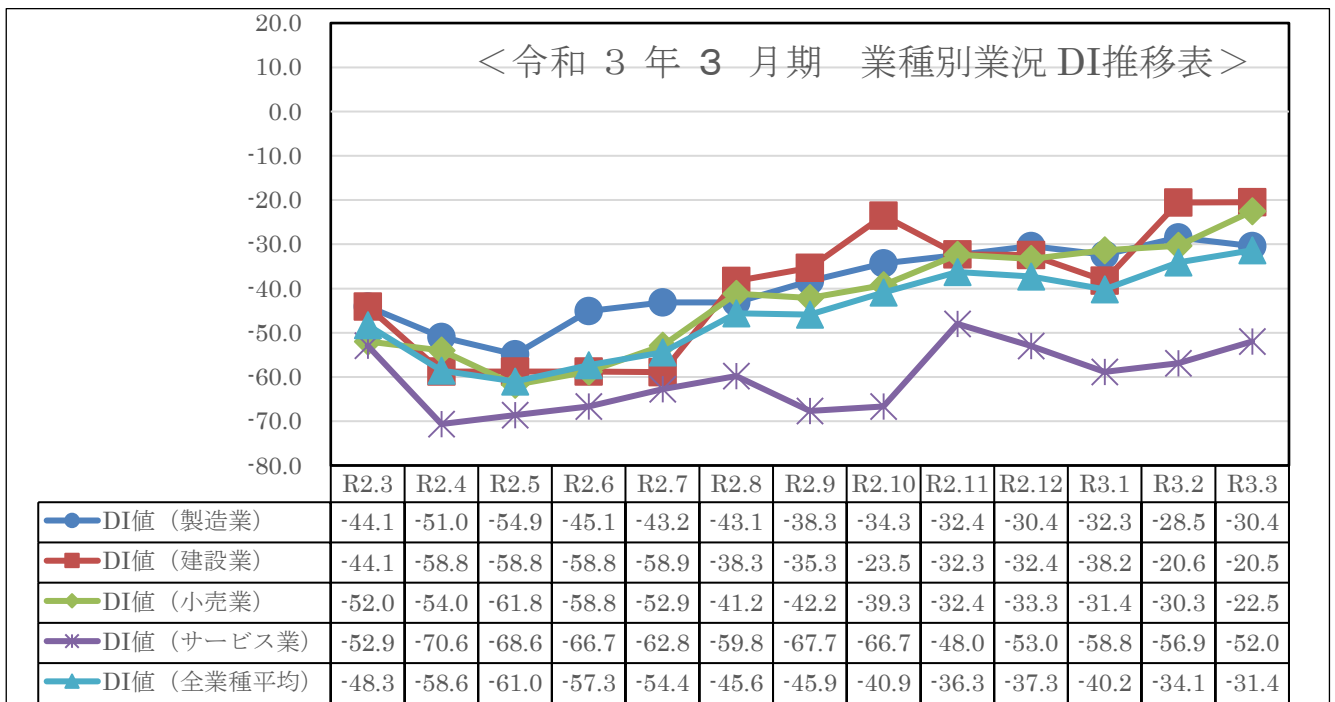
【小売業】

業況は-22.5（前月-30.3、前年同月-52.0）と前月に比べ7.8pt好転した。外出自粛の影響より、食料品及びエアコンなどの家電販売が好調で売上が伸びている。一方で、衣料品に関しては低迷が続いている。

【サービス業】

業況は-52.0（前月-56.9、前年同月-52.9）と前月に比べ4.9pt好転した。旅館業において、3月下旬の緊急事態宣言解除に伴い一定の来客はあったが、コロナウイルス拡大前には程遠い状況にある。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：増田・中村〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・食料品製造業では、首都圏緊急事態宣言による観光客減少により受注額が落ち込んでいる。また、原材料も値上がりが見られている（伊豆）
- ・食料品製造業では HACCP に沿った衛生管理の制度化が急務である。（富士駿東）
- ・茶業では加工茶の製造が増加する一方、リーフ茶は低調のまま推移している。（中部）
- ・自動車関連など一部の製造業では、コロナウイルス拡大前とほぼ変わらない状況まで回復してきているが、半導体不足の影響が懸念されている。（中東遠）
- ・水産加工業では、しらす春漁が始まり、急ピッチで在庫・製品確保に努めている。（西遠）

【建設業】

- ・国県が実施する補助金等のコロナ対策予算の効果が有り、改修工事等受注が多い。（伊豆）
- ・消費税引き上げ後、厳しい状態が続いていたが、新築・リフォーム等、徐々にではあるが需要が増加している。コロナウイルスの影響で一部資材が滞っている。（富士駿東）
- ・解体業の需要は伸びているが、新規建設に関する需要は減少している。（中部）
- ・一般住宅に比して業務店での改装などの動きが伺える。（中東遠）
- ・大手住宅メーカーの下請けであるが、5月以降の受注状態が不透明なため、今後に不安を感じている。（西遠）

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・河津桜の影響もあり、首都圏からの日帰り観光客の往来が多く見受けられた（伊豆）
- ・食料品の一部を除いて、依然厳しい状況が続いている。（富士駿東）
- ・国内生産製品の仕入単価は不変だが、円安により海外生産製品は上昇している。（中部）
- ・SNS を活用した集客に取り組む店舗が見受けられる。（中東遠）
- ・例年に比べるとコロナウイルスによる自粛の影響で、エアコンなどの購入や修理依頼が多かった。（西遠）

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・首都圏の緊急事態宣言による外出自粛の影響を受けているが、下旬に解除されてからは春休み中ということもあり、一定数の来客があった。（伊豆）
- ・従業員を抱えている旅館等は休業を余儀なくされている。（富士駿東）
- ・緊急事態宣言解除後、入込客は増加傾向にある。テイクアウトが定着してきている。（中部）
- ・例年ある宴会予約が無く、前年同月比で更に売上が少ない状態が続いている。（中東遠）
- ・キャンプ場において、TV アニメ「ゆるキャン」効果か、アウトドア志向の強まりか、キャンパーが増加傾向にあり、特に土曜日は満杯の状況である。（西遠）

景気動向調査 業種別D.I(令和 3 年 3 月末)

1.食料品製造業

	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-35.3	-41.2	好転
売上	-29.4	-38.3	増加
仕入単価	3	-5.9	上昇
採算	-38.2	-44.1	好転
資金繰り	-38.2	-41.2	好転

2.繊維工業

	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-20.6	-14.8	悪化
売上	-23.6	-11.7	減少
仕入単価	8.9	5.9	上昇
採算	-17.7	-14.8	悪化
資金繰り	-17.6	-11.8	悪化

3.機械金属業

	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-35.3	-29.4	悪化
売上	-23.5	-23.5	不変
仕入単価	8.8	2.9	上昇
採算	-23.5	-26.5	好転
資金繰り	-29.5	-23.5	悪化

4.建設業

	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-20.5	-20.6	好転
売上	-14.7	-5.9	減少
仕入単価	17.7	5.9	上昇
採算	-14.7	-14.6	悪化
資金繰り	-23.5	-11.8	悪化

5.衣料品小売業

	業況 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-47.1	-52.9	好転
売上	-35.2	-44.1	増加
仕入単価	3	-2.9	上昇
採算	-32.4	-44.1	好転
資金繰り	-38.2	-47.1	好転

6.食料品小売業

	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-8.8	-11.7	好転
売上	8.9	5.9	増加
仕入単価	5.9	-5.9	上昇
採算	-17.7	-23.6	好転
資金繰り	-17.6	-26.5	好転

7.耐久消費財小売業

	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-11.7	-26.4	好転
売上	-8.8	-14.6	増加
仕入単価	11.8	5.9	上昇
採算	-11.7	-23.5	好転
資金繰り	-14.7	-26.4	好転

8.旅館業

	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-64.8	-67.7	好転
売上	-55.9	-55.9	不変
仕入単価	-2.9	-5.9	上昇
採算	-56	-56	不変
資金繰り	-53	-56	好転

9.洗濯業

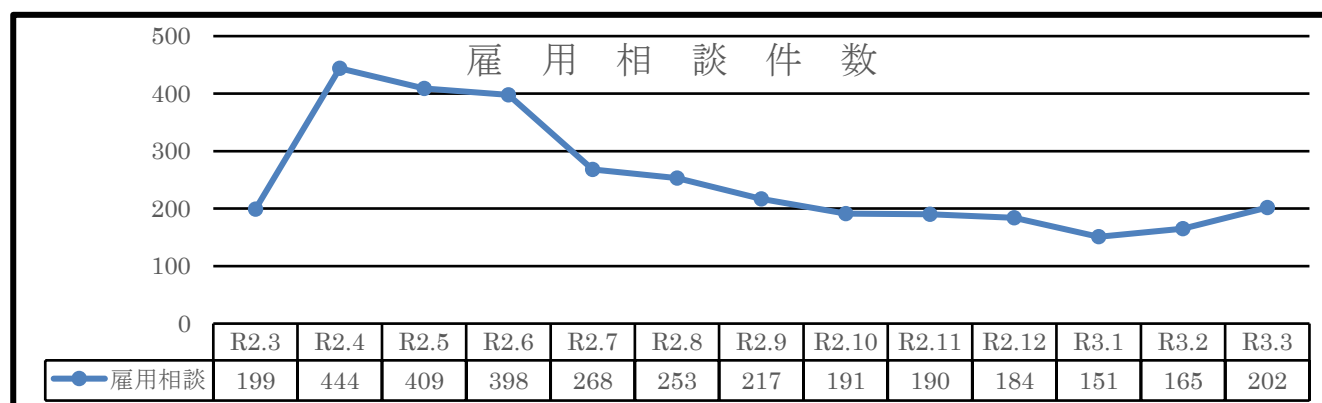
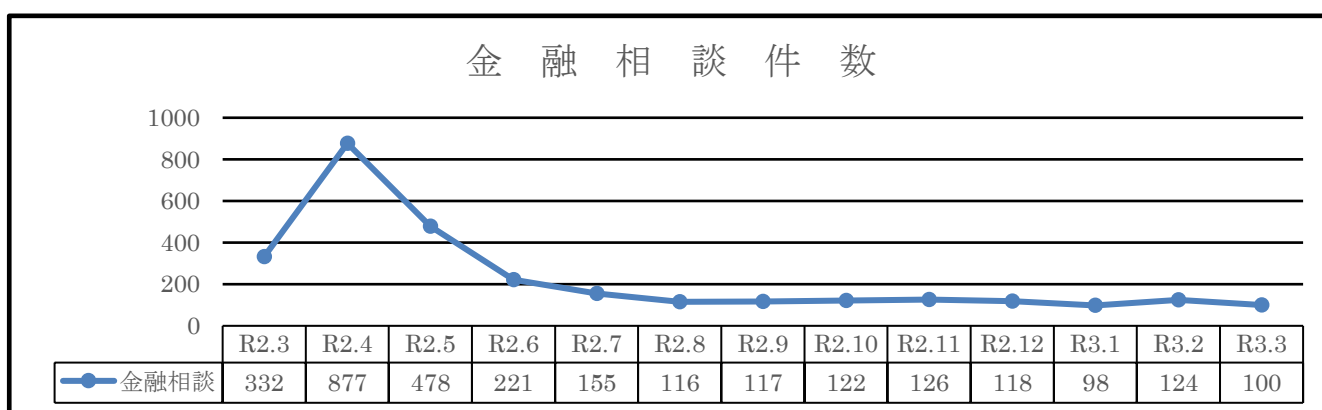
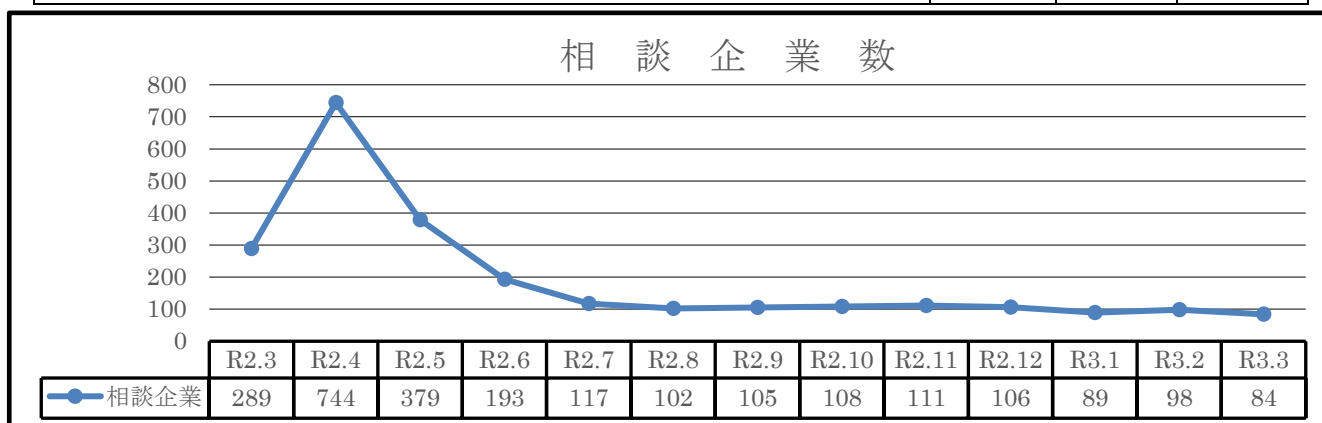
	今期 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-58.8	-64.7	好転
売上	-53	-58.8	増加
仕入単価	5.9	5.9	不変
採算	-41.2	-47.1	好転
資金繰り	-53	-53	不変

10.理美容業

	業況 D.I	前期 D.I	対前期比
業況	-32.4	-38.3	好転
売上	-20.6	-29.5	増加
仕入単価	0	-3	上昇
採算	-20.6	-26.5	好転
資金繰り	-32.4	-38.3	好転

金融・雇用相談実績月次報告(令和3年2月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	84	98	-14
【金融相談件数】	100	124	-24
新規融資（借換えを除く）	58	70	-12
既存債務の借換え	33	52	-19
借入れ条件変更	0	0	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	9	2	7
【雇用相談件数】	202	165	37



【金融相談】

金融相談件数は、100件と前月(124件)に比べ24件減少した。コロナ禍の長期化により、追加融資や既存借入金の借換の融資相談が多い。

＜経営指導員コメント＞

- ・コロナ関連の融資制度について、追加融資の相談が増えている。(伊豆)
- ・融資相談は減少傾向だが、飲食店を中心に資金繰りは厳しい状況が続いている。(富士駿東)
- ・マル経融資と新型コロナウイルス感染症特別貸付の問い合わせがあった。(中部)
- ・継続相談案件で、企業概要書作成支援を進め、日本政策金融公庫の一般貸付へ申込みを行い、満額調達することができた。(中東遠)
- ・コロナ関連融資の再申込相談があったが、希望通りの資金確保が厳しい。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、202件と前月(165件)に比べ37件増加した。従業員の入退者に伴う、雇用保険資格取得・喪失、離職証明書作成手続き相談が増加している。

＜経営指導員コメント＞

- ・委託事業所から例年に比べ離職証明書の提出が増加している。(伊豆)
- ・雇用保険の手続きについてはコロナ禍で取得、喪失共に手続きが増加している。(富士駿東)
- ・通常の入退者に伴う雇用保険手続きが主な相談となっている。(中部)
- ・雇用調整助成金、キャリアアップ助成金相談があった。(中東遠)
- ・先月に続き、コロナ禍の厳しい状況の中、建設業において会社を退職し独立する方が数名あった。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・3/28(日)に河津寄って軽トラ市を開催。16台が出店し、感染対策を徹底し実施したが、雨もあり来場客数は400名程度であった。(河津町)
- ・緊急事態宣言が解除されたこともあり、イベントなども若干の緩和がみられる。修善寺地区においても4月には1件駅前でのイベントが計画されている。(伊豆市)
- ・来店客が減少している飲食店、小売店の販売促進を図るため、清水町役場の中庭を会場に平日、11時から14時まで中庭マルシェを実施した。(清水町)
- ・プレミアム付商品券事業(5/21販売予定)について商工会議所と協議継続中。商品券の使えるお店の登録を開始。(浅羽町)
- ・観光協会のイベントについて、来月より「うなぎつかみ体験」「さかなとり体験」「しらす釜揚げ体験」など計画している。(新居町)